

閣  
第二二二号

起案

令和三年十月十四日

決定  
上奏

令和三年十月十四日  
令和三年十月十四日  
令和三年十月十四日

施行  
公布

令和三年十月十四日  
令和三年十月十四日

内閣総理大臣

山

内閣官房長官

野

内閣官房副長官

岸

内閣総務官



内閣法制局長官



金子(恭) 国務大臣

加

後藤 国務大臣

佐

岸 国務大臣

堀内

堀内 国務大臣

堀

古川 国務大臣

並

金子(原) 国務大臣

井

小林 国務大臣

堀

牧島 国務大臣

島

茂木 国務大臣

並

萩生田 国務大臣

並

西銘 国務大臣

松野

松野 国務大臣

野

鈴木 国務大臣

西

斉藤 国務大臣

西

二之湯 国務大臣

山際

山際 国務大臣

際

末松 国務大臣

関

山口 国務大臣

野

野田 国務大臣

若宮

若宮 国務大臣

宮

衆議院解散について

右閣議に供します。

内

閣



詔書案

日本国憲法第七条により、衆議院を解散する。

御名 御璽

令和三年十月十四日

内閣総理大臣



衆議院を解散する。

内閣総理大臣

内閣

本日（十月十四日）付けをもって  
公布することといたしたい。



案 (一)

別紙詔書が発せられましたから、お伝えいたします。

令和三年 月 日

内閣総理大臣

衆議院議長宛て



案 (二)

別紙詔書が発せられた旨衆議院議長へお伝えいたしました。  
右お知らせいたします。

令和三年 月 日

内閣総理大臣

参議院議長宛て

◎ 参照条文

○ 日本国憲法（抄）

第七条 天皇は、内閣の助言と承認により、国民のために、左の国事に関する行為を行ふ。  
（略）

三 衆議院を解散すること。